



災害対応現場での必須4種の実習 ～災害現場で行動できる災害対策士となるために～



- **開催日**：2024年9月19日(木)と20日(金) 9時～17時30分
- **場所**：東京大学生産技術研究所（駒場キャンパスS棟プレゼンテーションルーム）
- **対象者**：民間企業のリスク・BCP担当者、行政職員、住民組織リーダー
- **受講形態**：講義 + 実習 + 災害対策士B級模擬試験
- **研修内容**：
 - 1日目：災害対策本部演習（EOC）、住家被害認定調査（THM）
 - 2日目：救助・救護（TSR）、避難所運営（TSM）
- **定員**：20名
- **参加費**：モニター受講の為無料
- **持ち物・服装**：筆記用具、汚れても良い服装
- **主催**：東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター
- **申し込み**：<https://forms.gle/fLt529PHWpaPFZW7>
- **お問い合わせ**：katsuya_yoshida.dmtc@outlook.jp

2024年9月19日(木)

AM 災害対策本部 (EOC)

- Mission 1：災害対策業務FGからEOCの教訓を学ぶ。
- Mission 2：EOCの運営業務を標準化する
- Mission 3：EOCのマネジメントを体験する。

行政、企業、地域などすべての組織にEOC(災害対策本部)機能は必要にもかかわらず未体験のまま被災する現状を打破する。



第一回目の研修の様子
<https://dmtc.tokyo/2023/07/04/the-ecm-monitor/>



PM 被害認定調査 (THM)

- Mission 1：住家被害認定調査の方法を理解する。
- Mission 2：住家被害認定調査を体験する。
- Mission 3：住家被害認定調査の要点を理解する。

首都直下地震や南海トラフ巨大地震では、膨大な“家”の被害が発生する。行政、民間などに関わらず住家被害認定調査技術の習得が必須である。



2024年9月20日(金)

AM 救助・救護 (TSR)

- Mission 1：災害現場とは？
- Mission 2：災害現場での応急手当を学ぶ。
- Mission 3：災害現場でのトリアージを体験する。

広域同時被災時は、「共助」と「自助」で命をつなぐより他ない。そのために必要な知識と最低限の体験により災害現場で“動ける”人材になる。



PM 避難所運営 (TSM)

- Mission 1：避難所運営の全体像を理解する。
- Mission 2：避難所での様々なトラブルを体験する。
- Mission 3：避難所の空間配置を理解する。

「避難所運営の実態」を学び、避難所運営に必要な人、もの、情報、金を知ることで、避難所に対応できる人材になる。



Day 1

- 08:30-09:00 受付(一般参加者+災害対策士®B級受験者)
- 09:05-12:10 EOC演習
- 12:10-12:55 昼食休憩(学内食堂・東大生協購買部・持参弁当)
- 13:05-15:40 THM演習
- 16:00-17:00 災害対策士B級模擬試験1(要持ち込みPCによる)
- 17:30 解散予定 懇親会

Day 2

- 08:30-09:00 受付(一般参加者+災害対策士®B級受験者)
- 09:00-12:00 TSR演習
- 12:15-13:00 昼食休憩(学内食堂・東大生協購買部・持参弁当)
- 13:00-16:10 TSM演習
- 16:20-17:20 災害対策士B級模擬試験2(要持ち込みPCによる)
- 17:35 解散予定

●応用分野



1. ガバナンス・組織運営

2. 災害情報

●基礎分野

0. 災害対策原論

- 災害対策本部
EOC: Emergency Operation Center
- 住家被害認定調査
THM: The Housing Management
- 救助・救護
TSR: The Search and Rescue
- 避難所運営
TSM: The Shelter Management

なぜ4種類の実技なのか？

DMTCでは、8分野・47種類の災害対策業務を定義しています。その中で、災害対策士が現場で活躍するために必要な技能として、4種類の実習を選定しました。

- 災害対策本部（EOC: Emergency Operation Center）は、災害時に情報を集約し、必要な意思決定やマスメディア対応などの情報発信を行うことが求められます。そのため、災害対策士にとって、災害対策本部での運営能力は必須の技能です。
- 住家被害認定調査（THM: The Housing Management）は、建物構造の基礎知識と、罹災証明書につながる被災者支援の重要な業務であり、必須の技能です。
- 救助・救護（TSR: The Search and Rescue）は、被災地において、現場の状況を認識し報告することや、チームで協働するコミュニケーション能力を習得するために必要な技能です。
- 避難所運営（TSM: The Shelter Management）は、災害時に発生するさまざまなトラブルに対応し、被災者全体や個人など、さまざまなレベルで集団をマネジメントする能力を習得するために必要な技能です。

申し込み : <https://forms.gle/fLt529PHWpaPFZW7r7>
お問い合わせ : katsuya_yoshida.dmtc@outlook.jp

災害対策士
Disaster Management Specialist

